

【銀賞】

『おにぎり大好き！』

宮崎市立潮見小学校 5年 池澤 ななみ

「ななみは、本当にごはんが好きやねー。」と、お母さんは私によく言います。

今日の朝ごはんは、バターとさとうをたっぷりぬったトーストでした。私はお母さんに

「なんで今日はごはんじゃないとお。おにぎり作ってよー。」と言いました。こんな時も、お母さんのいつもの口ぐせがでます。そう、私は、おにぎりが大好きです。

四時間目の授業も、おにぎりを食べて行けば、おなかグーグー鳴ることもなく集中できます。学校が終わって、習い事に行く前も、おにぎりを三つ食べて、パワーアップしてから行きます。

そんな私の元気のもとのお米づくりを今年、三月には体験しました。私のおばあちゃんの家は西都市にあります。西都市では超早場米といって、台風のえいきょうで稲がたおれてしまうのをさけるために、ふつうよりも早い時期に田植えをして、しゅうかくの時期も早くするのだそうです。

機械ではできない、田んぼのすみっこに、手でお米のなえを植えていく作業を手伝いました。今まで、おばあちゃんが手でなえを植えているのを見ていて、なえを土にさして、まっすぐに立てるのがむずかしそうだと思っていました。教えてもらいながらやってみると自分でもうまくできました。長ぐつがうまって足が動かなくなったり、妹といっしょにつかまりあつて、転びそうになったり、しりもちをついたりしたけど、とても楽しくて、よい経験ができたと思います。

田植えの手伝いをしてからは、月に一度、西都市のおばあちゃんの家に行くところにある田んぼを見るのが楽しみになりました。台風が来ると、せがのびてきた稲がたおれていないか、心配になりました。私の植えたなえが、どんどんせが高くなり色も黄色く変わってきて、五ヶ月くらいでお米に育っていくことがわかりました。来年は七月にある稲かりもやってみようと思っています。

夏休みになると毎日、妹と二人で児童クラブに行っています。一年生の時は、すぐくさみしい気持ちがあったけど、お昼ごはんにお弁当を開けると、お母さんが、おにぎりかわいい動物に変身させてくれているので、元気ができました。

五年生になってからは、早起きしてお母さんといっしょにおにぎりを作っています。

最近、お母さんとケンカも多いけど、お昼になって、お弁当を開けると、二人でお弁当を作っている様子が頭の中にかんできて、さみしくても安心する時があります。

しょう来、私がお母さんになったら、おいしいおにぎりのお弁当を作って、それを食べてもらって、私みたいに心も体も元気になってもらいたいんです。そのために、私は明日も早起きして、お母さんといっしょにおにぎり作りをがんばります。